



市長から

新型コロナウイルス感染症について、市民の皆さんには、外出の自粛やイベントの中止など、感染拡大防止のための取り組みにご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

4月16日に全国に発令された緊急事態宣言も、岡山県は5月14日に解除されたところですが、今後も引き続き厚生労働省から示された「新しい生活様式」などをもとに、感染症対策に努めていかなければなりません。

そして、この状況下において、どのように日常生活や経済活動を取り戻していくかが、本市においても大きな課題となっております。

新型コロナウイルス感染症に関する各種支援策

国が市町村を通じて1人につき10万円を給付する「特別定額給付金」については、5月下旬から指定された口座への振り込みを開始しています。

また、子育て世代への支援のため、国が支給する「子育て世帯への臨時特別給付金」に上乗せし、児童1人当たり3万円を給付する「瀬戸内市子育て特例給付金」については、6月上旬から対象者の口座への振り込みを開始しています。

さらには、瀬戸内市商工会が小規模・中小企業支援として開設する「小規模企業者・中小企業者向け経営相談窓口」は、5月11日から業務を開始しています。

まっている人からの猶予などの相談にも対応していきます。

GIGAスクール構想

新型コロナウイルス感染症の拡大から、全国の学校で休業措置などが実施されましたが、このような緊急時においてもICTの活用により全ての子どもたちの学びを保障できる環境を早急に実現することが必要であるとされました。

これに伴い、今年度中に児童生徒1人1台の端末の整備とそれに伴う周辺環境の整備を行うため、補助のスケジュールを見直した国の令和2年度補正予算が4月30日に可決されました。

教育委員会としても、この補助制度を活用して端末などの整備を行い、オンライン学習などを活用した家庭学習と教師による対面での学習サポート・学習状況の把握の組み合わせにより、子どもたちや保護者の皆さんの学びに対する不安を少しでも早く解消したいと考えています。

ています。

外来診療では、感染の疑いがある患者と通常診療の患者が接触しないよう、可能な限り動線を分けるとともに、感染防具などが不足する中においても医療従事者の感染防止に配慮するなど、適切な感染対策に努めています。

入院では、新型コロナウイルス感染症発生に備えた機器の整備をすることとしています。現在、入院患者への面会禁止などでご不便をおかけしていますが、感染拡大防止の取り組みに引き続きご理解とご協力をお願いします。

教育長から

新型コロナウイルス感染症に対する学校関係の対応とし

また、新規の市独自の支援策として、新型コロナウイルス感染症拡大により影響を受けている市内の事業者に対して、国が実施する持続化給付金の上乗せ給付として、持続化給付金給付額の10%を支給することとします。

併せて、特に大きな影響を受けている市内の宿泊事業者の支援策として、宿泊者1人当たり1万円を上限として宿泊料の50%を割引し、その割引分について瀬戸内市観光協会を通じて宿泊事業者に支給することとします。

新型コロナウイルス感染症に 対応した避難のあり方

大雨、台風シーズンを迎え、新型コロナウイルス感染症に対応した避難所の開設、市民

の避難のあり方について、見直しをする必要があります。

特に大雨、台風の接近などにより開設した避難所については、密接、密集、密閉、いわゆる3密の状態になることも想定されるため、現在災害対策本部会議において、避難所の開設方法や市民の避難方法について検討を行っています。避難所での感染症拡大の防止、親戚や友人宅への避難の誘導など、避難所が過密状態にならないような周知も必要であると考えています。

瀬戸内市民病院での 感染防止対策

瀬戸内市民病院では、通常診療を継続しながら、新型コロナウイルス感染症対策に多くの人的、物的資源を投入し